



ツリガネニンジン

《私が子どもだった頃》(後編) 熊井 健

小学校の高学年の頃は、侍従川に親しむ会の創設者である飯村さんのご両親に那須にある別荘に泊まらせて頂き、自転車を借りて夜中は一人で林の中でクワガタを探しました。当時はクワガタブームの駆け出しということもあってか、山梨では業者も多く、たいていは先回りされ、私のような子どもではなかなか見つけれませんでした。が、栃木県の那須ではその魔の手がまだ伸びていなかったようで、バナナをクヌギなどに置いておくというクワガタが採れたものでした。本当にあの頃は飯村さんのご両親に自由にのびのびと遊ばせていただきました。

「侍従川に親しむ会」の存在は、この頃飯村さんに教えて頂きました。こうして子どもの頃を思い起こしてみると、どちらかと言うと、人付き合いが苦手な私なのですが、生き物への興味を入り口に、たくさんの方々との出会いがあり、育ててもらったのだと、改めて気づかされます。

山梨の忍野村では、蝶がご専門の橋本健一先生と出会い、「折りたたみ式の捕虫網」という道具の存在を知り、それが東京渋谷の「志賀昆虫店」というお店で売っていることも教えて頂き、早速父と電車に乗ってそれを買に行き、「志賀昆虫店」がかなり専門的な店で驚いたことを覚えています。



ツリガネニンジン (釣鐘人参)

学名: *Adenophora triphylla* var. *japonica*

解説: 高さは40-100cmの多年草で、8~10月に淡紫色の下を向いた鐘形の花を咲かせることから釣鐘の名がつく。トトキても呼ばれ「山でうまいはオケラにトトキ…」と謡われ、春に若芽を食べ、当会の野草料理イベントでも人気。根茎は生薬になるが強壯効果はないとされる。人の手に入った明るい淋縁や土手などに生える。

山田陽治

その後、橋本先生がクワガタの図鑑を送って下さり、いよいよクワガタ好きへの拍車がかかりました。幼稚園から小学校までの私はだいたいこのような感じでした。

ソフトボール、インラインスケート、スキーなどなど、人並みにやってはみましたが、やはり行き着くところ、生き物探しと飼育でした。勉強？は、ほぼ無縁でした。よく遊び、よく遊びでしたから。。

「侍従川に親しむ会」に入会したのは中学2年生になってからです。それまでの私はほとんど単独行動だったので、先輩や仲間と過ごしたことは良い経験だったと思います。山田さんには学生部洗礼行事サバイバルキャンプや三浦の三戸浜キャンプに連れて行って頂き、竹筒でご飯を炊いたり、いろんなことを教わりました。また竹内さんには愛車(通称竹内さん号)で遠くまで連れて行って頂きました。なかでも高校2年の夏休みに行った三重県の川で同級生の加藤くん、後藤くん、後輩の宅間くんと飛び込みを競い合っただことは楽しかった思い出のひとつです。

中学3年の頃は当時侍従会の会長だった相川さんに“昆虫写真”を撮ることを勧められ、カメラをお借りしたり、焼き増しを夜中まで手伝って頂いたり、たいへんお世話になりました。

あの頃のカメラといえばデジタルではなかったので、フィルム代と現像代はかなり消費しました。この写真は昆虫写真図鑑として、夏休みの自由研究に出品し、金賞を受賞することができました。相川さんにも本当に感謝しています。この経験が今の私に繋がっているのでしょうか。良いか悪いかは別かもしれませんが(笑)

他にも「水の日」のイベントのイカダ下りでイカダがゴール目前で沈没して皆でびしょ濡れになったことなどを思い出します。単独行動ではなかなか味わえなかったことです。もちろん楽しいことばかりではなく、私だけではありませんが、悲しい出来事もいくつかありました。そんなとき会の大人の方たち、先輩や仲間たちに励まされたことは忘れません。

私の少年時代を語るには、多くの生き物との出会いに尽きますが、そのことを通して出会うことが出来た方達は私の人生の宝だと思います。

少年時代を振り返り後悔することは、もっと真面目に勉強をしておけば良かった。というところでは、エネルギー配分を間違えましたね。

(おわり)



ミヤマクワガタ

だぼはぜ通信第18号
侍従川生き物図鑑より
(熊井氏撮影)

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

～ アマミウラナミシジミ ～

学名：*Nacaduba kurada septentrionalis*

体長：前翅長（ぜんしちょう）：17mm内外

分布：南西諸島（トカラ列島以南、屋久島、種子島、九州南部）、国外ではオーストラリア、東洋区に広く知られる

沖縄本島で普通に見られるシジミチョウで、3月から12月まで活動しています。同じ南西諸島でも活動時期は地域によって異なり、

石垣島、西表島など八重山諸島では周年見ることができます。羽の裏は地味ですが、表面には美しい金属光沢を帯びた模様があります。幼虫の食草はシマイズセンリョウ、モクタチバナ、などの若葉。



羽の表面（雄）



幼虫の食草
シマイズセンリョウ

監修：熊井（沖縄在住）

トピックスその1

6/11(水) 高舟台小学校5年生の侍従川調べ（相川前会長、村田、細川、山田が対応）

6/13(金) 六浦小学校3年生の侍従川探検（相川前会長、細川、山田が対応）

6/17(火) 大師高校1年生の侍従川体験（相川前会長、細川、飯村が対応）

7/8(火) 六浦小学校3年生の侍従川探検 ※7/4 予定の雨天順延（細川、竹内が対応）

7/8(火) 逗子市高齢者福祉センター主催「自然学習講座」フィールド実習で侍従川生物調査（山田が対応）

7/16(水) 高舟台小学校5年生の侍従川調べ（細川、山田が対応）

7/22(火) 逗子市高齢者福祉センター主催「自然学習講座」座学で侍従川のレクチャー（山田が対応）

7/26(土)、27(日) 生き物体験博物館 in トレッサ横浜に参加展示（深沢、重田ゆ、長崎、柴田、金澤、片岡、高橋が対応）※大道小学校ブースは、伊藤先生、玉利先生が対応

8/4(月) 横須賀学院放課後クラブ キッズスクエアのび

のびの侍従川ミニ水族館づくり（飯村、重田ま、重田ゆ、重田あ、深沢、山田が対応）

8/27(水) JCOM「こどもかいぎ」侍従川編の口ケ予定が雨天中止※延期日未定



ホタル調査 (2014)

【調査地】

大道中学校

【調査期間】

2014年5月24日～6月22日

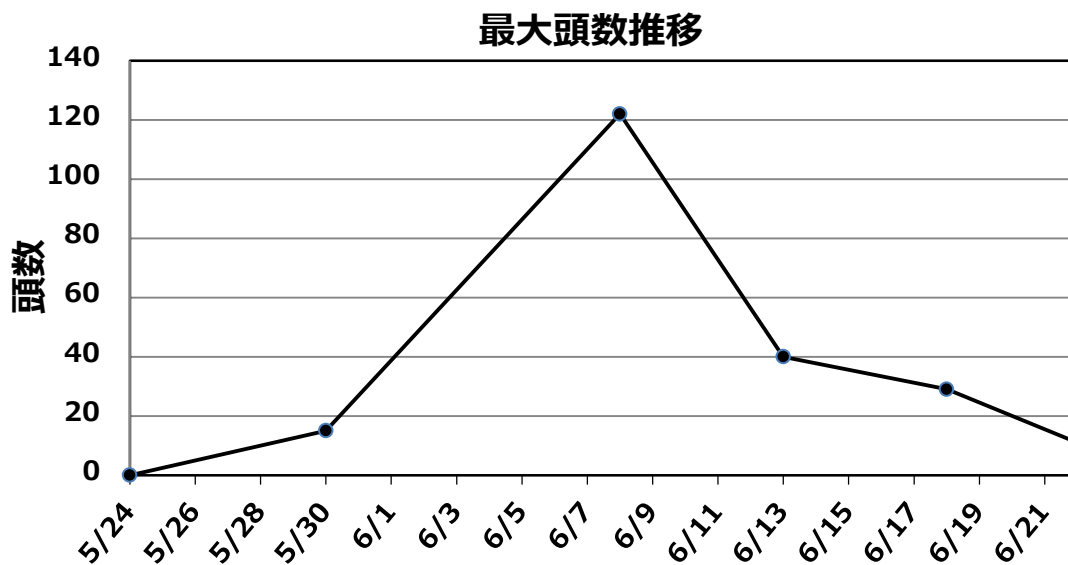
【調査担当者】

瀧本・山下・佐野

【結果】



	19:00	19:15	19:30	19:45	20:00	20:15	20:30
5月24日	0	0	0	0	0	0	0
5月30日	0	5	8	11	15	9	0
6月8日	6	20	78	106	122	98	72
6月13日	0	0	14	37	40	29	15
6月18日	0	3	6	29	22	8	0
6月22日	0	2	4	11	4	3	0



【まとめ】

今年は数年ぶりに100個体以上のゲンジボタルが確認され、クリスマスツリーのような光景をみることができました。また、例年より発生時期が1週間程早く、6月8日頃にピークを迎えました。

2012年、2013年と比較して個体数が増えたのは、2012年2月24日におこなった、伐採作業のおかげだと思われます。

ホタルは、小川に木が覆って暗くなってしまうと少なくなってしまいます。そのため、定期的に木を伐採して小川を明るくしてあげることが必要なのです。

会員のつどい

【活動報告1】

6月14日(土) 18:00~19:00

寺尾勝廣

6月14日晴れ、ふるさと侍従川に親しむ会の総会を大道コミュニティハウスで開催した。会長こと山田さんは仕事と調整がつかずに欠席。残念な雰囲気には包まれるところでしたが、その雰囲気を「一言」で吹き飛ばしてしまったのは佐野副会長でした。その一言とは「結婚しました♥」でした。みんな、ビックリと同時に暖かい拍手の嵐！ おめでと〜♥。



さて、ここからが本題の2013年度活動報告です。子どもも大人も1年を通じて事故も無く、良い経験ができたと感じました。川の清掃に関しては、多くの人たちに参加して欲しいとの願いがありました。



侍従川で遊ぶ！侍従川で楽しむ！これは、清掃活動があって初めて成り立っていることを忘れてはなりません。義務と考えずに楽しく、清掃活動を継続し、遊べる環境・楽しめる環境を維持していきましょう。

《生き物発見記録》

6/14(土) 朝比奈小ビオトープでマツモムシを確認 (佐野) ①

6/14(土) 朝比奈町でヘイケボタルを確認 (佐野・深沢)

※朝比奈町のヘイケボタルは今年3月の土砂崩れで湿地が干上がり絶滅が心配されていましたが、無事確認することができました。現在、佐野が系統保存の目的で繁殖させて飼育しています。

6/17(火) 東朝比奈で絶滅危惧種ヒラタクワガタを拾う
(別府直子さんより佐野がいただきました) ②

7/27(日) マルタウグイを確認 (学生部) ③

野島でアカテガニの産卵を確認 (佐野) ④



ホタル観察会

【活動報告2】

6月14日(土) 19:30~20:30 大道中学校

重田優香

6月14日土曜日19:30から、ホタル観察会が始まりました。

今年のホタルは、去年よりも少ないと言われました。だいたい70~80ぐらいです。

初めはよくわかりませんでした。少しずつ見えるようになってきました。

木の上に飛んでいるもの、葉にとまっているもの、中には簡単に取れそうなものもいたので、みんな手にとって観察していました。

ホタルはやはり珍しいので、子どもから大人まで、ビックリしていたり、喜んでいたり…みなさんはとても満足しているように見えました。

時間とともに、受付人数もどんどん増えていき、今までで最大の来客数があったそうです。

たくさんの方が来たのは嬉しいのですが、中には懐中電灯をつけてしまうなど、ルールを守らない人もいて残念でした。

来年は、そういう人を減らせるよう、最初にきちんと説明したいと思います。

いろいろありましたが、みなさん帰る時には、「凄く綺麗だった!」「来て良かった!」と言ってくれたので、とても嬉しかったです。

来年も、みなさんを喜ばせる事が出来るこのイベントのお手伝いをぜひやりたいです。



6月定例クリーンアップ

【活動報告3】

6月22日(日) 10:00~11:30 曇り時々雨 26℃

朝比奈橋~大道橋~ちとせ園(清掃)

細川一雄

参加者: 西澤博厚、八木場紀元、角田繁、村田章夫、石塚正夫、外川忠志、細川一雄(計7名)

前日からの雨が朝から降っていましたが、少し待てば小降りになるとの予想でしたので、開始時間を1時間遅らせて、大人だけで活動を行いました。

今回は、メンバーも少ないので上流部分のみの清掃作業を行いました。

作業を始める頃は雨も小降りになり何とかびしょぬれにならずに済みました。



青木橋の下に捨てられていた、境界表示用杭(コンクリート製)。回収不能のためそのままにしてある。

回収したゴミ(8袋⇒7袋にまとめた)

7月定例クリーンアップ

【活動報告4】

7月27日(日) 9:00~11:30 晴れ 30℃

朝比奈橋~大道橋~大道東橋(清掃)

細川一雄

参加者：西澤博厚、八木場紀元、角田繁、村田章夫、山田陽治、佐野真吾、中藤大治、中藤詩織、中藤野乃(幼稚園)、金沢瑛士(中1)、小野田幸介(小6)、深沢大地(中2)、重田優香(中2)、片岡生一(小6)、細川一雄(計15名)



里野橋の入り口。錠前が無くなっている。

梅雨が明けて連日猛暑が続く真夏になりました。ちとせ園に来るだけでも汗が流れてきます。今回は多数の人が参加してくれましたので、子ども達は山田さんと佐野さんに誘導してもらい大道東橋から大道橋までの下流域を、大人グループは朝比奈橋から大道橋迄の上流域を担当して清掃活動を行ないました。



大道橋下の清掃作業

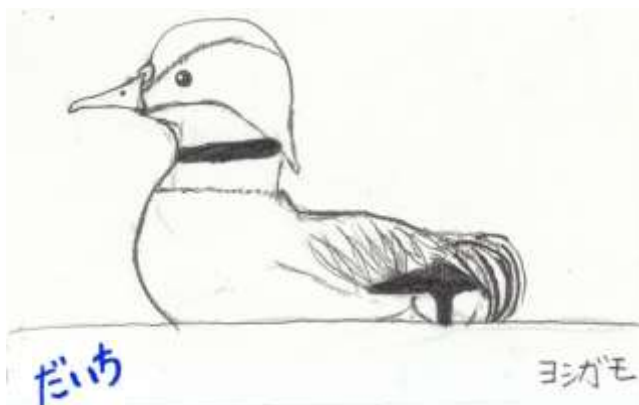
里野橋から川に下りようとしたところ、鍵が無くなっていました。誰かが鍵を掛け忘れたのか？(後日、区役所の区政推進課から金沢土木にお願いして鍵を付けてもらいました)。



ブックオフ下流の清掃作業
(お好み焼き道頓堀の後)

7月も下旬になると草が目一杯伸びていて草の中に隠れた小さなゴミはつい見逃してしまいます。草刈り作業が無くなったので体は楽ですがゴミを取り忘れてしまわないか心配になります。途中で2回ほど休憩を入れ11時過ぎにちとせ園に着きました。

子ども達はアイスクャンディー、ジュースとお菓子を、大人達は冷たい飲み物を飲んで汗を乾かして解散しました。



回収した土嚢袋5袋(鯉の死骸が入っていて臭い)

年に1度の待ちに待ったジュニアキャンプ！今年はスタッフ含め総勢48名という大所帯でした！

最初のテント張りも、テントの数が多いこともあり難航しましたが、お父様方の力に本当に助けられ、無事に張ることができました！感謝感謝です！

お互いにはじめましてのメンバーが多い中、さすが子どもたち...お昼ご飯の後には打ち解けていました。

夜は大興奮で随分と遅くまで起きていましたが、それも楽しかったみたいで、思い出と眠気がお土産になったかな??

二日間通しての海での活動も思いっきり楽しむことができました！二日目は、シュノーケル班とカヤック班に分かれての活動で、私はカヤックの方しか見ることができなかったのですが、難しそうなオール漕ぎもあつという間に自分の物にしていました...素晴らしい！

最後はみんな笑顔で「また来たいね。」と口々にしていました。私もまた来年がとっても楽しみになった二日間でした。



ジュニアキャンプの感想

今井翔太「たつくと虫捕りしたのが楽しかった。

セミの羽化も意外に見れて面白かった。」

今井はるか「うみ、たのしかった！」



海でおねえちゃんと貝をとってあそんでいるところです。セミの羽化の写真をみながら書きました。 やまもとゆの

うみで魚がとれながったけど、ハンモックにのれたとおもったら、おっこちでしましました。おっこちでしましたかきも、すごくいたふかたです。カキはたいたいたかき、つぎとけいはいききました。カキはおもしろかったです。またたたくてたべたいです。

七瀬 つかし 山本 空

8月定例クリーンアップ

【活動報告6】

8月24日(日) 9:00~11:00 晴れ 30℃

朝比奈橋~大道橋~大道東橋(清掃)

細川一雄

参加者：長野政治、西澤博厚、八木場紀元、角田繁、村田章夫、石塚正夫、石渡博、片岡生一(小6)、細川一雄(計9名)

13日間続いた猛暑日がやっと一段落し、少しずつですが秋の気配が見られ始めました(ツクツクボウシの初鳴き、アキアカネが飛び始めました)。夏休みももう直ぐ終わりです。子ども達は夏休みの宿題でてんてこ舞いしていますか？

今週の20日から治水事務所が約4日間掛けて大道橋から下流の草刈り作業を始めました。また、以前から依頼していた汐見橋上流の廃棄自転車も引き上げてもらいました。

更に、今年は葦船も作らないとのことでしたので、明戸橋下の葦も刈り取ってもらいました。

治水事務所が草を刈り取った為に今まで草で隠れていたゴミが露出するようになったので、下流域に重点的にメンバーを配置し、上流域は2名でお願いして清掃作業を開始しました。

今まで気になっていたのですが大道東橋下の鯉が殆ど見られなくなりました。県が馮凶除したという話は聞いていませんので、あれだけの鯉が一遍に居なくなるのは不思議です。鯉ヘルペスでも発生したのでしょうか？ 事情を知っている方が居ましたら是非教えてください。

多少は温度が下がっても、やはり真夏の日差しは背中に容赦なく刺さってきます。背中に太陽を感じながら黙々とゴミを拾っていきます。

予想以上にゴミが多く、長野さんに途中で土嚢袋を引き揚げてもらい、倉庫から土嚢袋を持ってきてもらうほどでした。長野さんが自転車に乗って上でサポートしてくれて大変助かります。

ちとせ園の柵の下に小さなビニール袋が引っかかっていた。見ると散歩中に犬の糞をビニールに袋入れて家に持ち帰らず川に投げ入れたものが途中で引っかかっていたようです。全く犬を飼う資格の無い人間が多いと思うこの頃です。



山王橋下流の清掃作業



回収した土嚢袋12袋分のゴミ

8月30日、さのしん企画のヤンマ捕り大会が瀬上で開催されました。毎年恒例になったこの行事を楽しみにしている人は私だけではないはずですよ。

今回はさのしんが秘密兵器を持参（下の解説を見てください）。果たして目的のマルタンヤンマはとれたでしょうか。

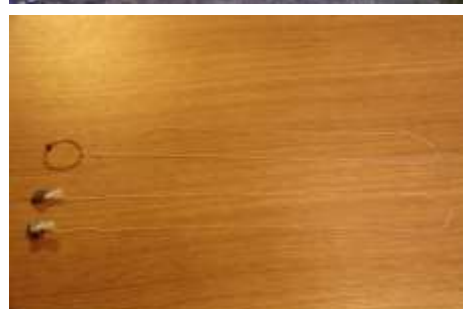
16:30に集合し、色々な生き物を捕まえながら、マルタンヤンマが出現する広場へ。シオカラトンボを捕まえたり、徐々に会った人と話したりしながらマルタンヤンマが来るのを待ちます。なんと、マムシまで姿を現し、みんなで観察しました。

ついにマルタンヤンマが飛び始めると、みんな真剣に網を振って狙います。しかし、さすがのマルタンヤンマ。さのしんの秘密兵器を駆使しても簡単には捕まりません。ついに、最後までマルタンヤンマを捕まえることは出来ませんでした。マルタンヤンマとの対戦は来年に持ち越しです。

マルタンヤンマは捕まえることが出来ませんでした。様々な生き物と出会え、とても楽しいひと時となりました。さのしんの秘密兵器を使ってみてみたい人は是非来年参加してみてください。

最後に人懐っこい野良猫？と一緒にみんなで記念撮影。8月の終わりにとてもいい思い出が出来ました。

<解説>侍従会の陶芸家、曾田さんがヤンマとりの秘密兵器“ブリ”を作ってくださいました。2種類作ってくださって、右の写真の下が通常版、上がオリジナル版です。黄昏飛翔をするヤンマにブリを投げるとヤンマは餌と間違えて食いつき、ヒモに絡まって落ちるそうです。（佐野）



トピックスその2

9/2(火) 六浦小学校3年生の侍従川探検（相川前会長、細川が対応）

9/2(火) 大道幼稚園の侍従川遊び（村田、八木場、角田が対応）

9/7(日) ボーイスカウト横浜第24団ビーバー隊の侍従川三二水族館づくりが雨天中止

9/9(火) 大道小学校侍従川清掃が青潮発生のため中止



だより

大道村の下半期の日程が決まりました。みなさん、ぜひご参加ください。

平成26年度 後期 **むかし資料館**の活動

武州金沢学 (地域の歴史・生き物・地質) 講座

2月21日 (土) (13:00~15:00)

地域の歴史を知ろう

大道よもやま話

語ってもらおう、まちの昔

8月23日 (土) 屋号から知ろう

昔体験スクール

「むかし遊び (こま・竹とんぼ) 大会をしよう」

11月15日 (土) (13:00~14:00)

「わらでお正月かざりをつくろう」 (縄ない機)

12月20日 (土) (13:00~15:00)

「あたたまろう・はかろう」 (火鉢・おせんべい)

1月17日 (土) (13:00~15:00)

どなたでもご参加になれます。



音楽の夕べ 9月13日 (土)



むかし資料館

開館予定日

いずれも

10:00~12:00

8月10日(日)

8月23日(土)

9月13日(土)

9月28日(日)

10月18日(土)

10月26日(日)

11月15日(土)

11月23日(日)

12月 7日(日)

12月20日(土)

1月17日(土)

1月25日(日)

2月 8日(日)

2月21日(土)

3月 7日(土)

3月22日(日)

佐野真吾が語る侍従会の思い出

～前会長、相川さんが語ったこと～

2006年、私はこの年大学生になりました。そして、大学の学生証に使う写真を撮ってもらうために会長（前会長）相川さんのスタジオに行きました（相川さんは写真屋さんです）。相川さんは侍従会でお世話になると同時に、私の通ってきた幼稚園、小学校、中学校にずっと写真屋さんとして撮影に来てくださっていたので、幼い頃から、特に馴染みのあるオジサンの一人でした。

「相川さんこんにちは。学生証の写真を撮ってください！」「おお佐野ちゃんもついに大学生か！」こうして私は相川さんに学生証の写真を撮ってもらい写真が出来上がるまで待っていると、相川さんがお茶を入れて持って来てくれました。そして「佐野ちゃんも大学生かあ。侍従会で若者が育ったことは嬉しいよ！」と言って侍従会についていろいろな話をしてくれました。

ここで少し侍従会の歴史を紐解かせていただきます。

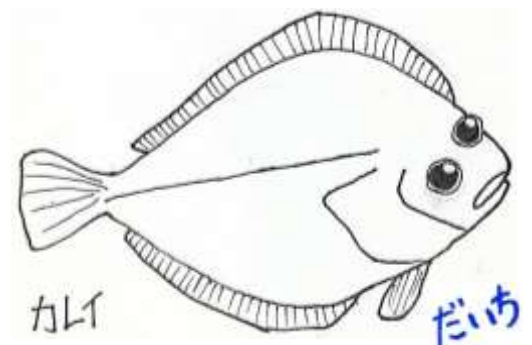
侍従会はもともと大道小学校のトンボ池で活動する団体「大道ふるさとの生き物に親しむ会（通称ダイフル会）」から前進したものです。その大道小学校の池づくりを指導した尾上伸一先生のことは皆さんもご存知かと思いますが、池づくりの言い出しっぺで、尾上先生を口説き活動の基盤を創ったのが前会長、相川澄夫さんなのです。

その後ダイフル会の活動はトンボ池から侍従川に広がり、現在の「ふるさと侍従川に親しむ会」と改名しました。相川さんには侍従川を「昔のように子どもが入って遊べる川にしたい」という強い想いがあったそうです。しかし、当時活動を始めた頃の侍従川はゴミとヘドロだらけのドブ川で、とても子どもが遊べるような環境ではありませんでした。

そこで、「子どもが遊べる川」という目標に向けて川掃除や生き物調査を始めました。現在の侍従川は水がきれいで生き物もたくさんいますね。しかし、その裏には相川さんたちが長年続けてきた努力と強い想いがあったからなのです。

さて、話は戻り、この日、相川さんはご本人が思い考える侍従会について語ってくださいました。中でも特に私の心に強く残っているのは「侍従川流域の人のつながり」という考え方と「いろんな子どもがいて、その子たちが輝ける場にしたい」という話です。

まず“侍従川流域”とはいったいどういう意味の言葉なのか？と考えた時、相川さんは「侍従川は大道小学校の子どもたちだけの川ではない。朝比奈小学校や大道中学校には侍従川の源流があるし、高舟台小、六浦小、六浦南小、瀬ヶ崎小、六浦中などは川のすぐ近くにある。これらの学校の子どもたちはみんな侍従川流



域の学校だから、侍従川で遊べばみんな仲間なんだ！ だから侍従会は来てくれる人は誰でもあろうと拒まないし仲間意識を持って活動したい。それはもちろん流域外から来た人だって侍従川と一緒に活動すれば仲間だし、そういうスタンスを大切にしたい。短くて小さな川だけど懐の大きな川にしたい。」とおっしゃいました。この“流域”とそこから広がり繋がる相川さんの考え方には大きく共感し影響を受けました。

次に「いろんな子どもがいて、その子たちが輝ける場にしたい」という話ですが、今もなお相川さんが言い続けているのは「侍従会には佐野ちゃんや山田くんみたいな生き物好きだけじゃなくて、植物好きがいたり、川遊び好きがいたり、絵を書くのが好きな子がいたり、色んな子が遊びに来られて、学校では見せ場のないことも侍従会では輝けてヒーローになれる、そんな場にしたい！」ということです。相川さんのこの想いは私も山田さんもずっと意識をして取り組んできました。そして現在の侍従会にも相川さんの語った想いはしっかり受け継がれているのではないかと思います。

2012年、侍従会は20周年を迎えました。そしてその機を待っていたかのように相川さんは「私は侍従会会長を降りて一般会員になりたいと思う」とおっしゃいました。私たちは驚いて、何とかこれからも続けてほしいとお願いしました。しかし相川さんの意志は強く固いものでした。

こうして20年間続けた偉大すぎる会長の引退に侍従会は一時的な混乱状態となりました。しかし皆で何度も集まり話し合ううちに今後の方針や目的の再確認、活動内容の再検討をおこなう良い機会となり、結果、2代目会長は山田さんが引き継ぎ、新制侍従会がスタートしたのでした。ちなみに私はこの時副会長に就任しました。

相川さんはこれまで20年間、侍従会の会長として会を支えてきてくださいましたが、実は明るみに出ないところでも侍従川水系の開発などにも意見し、環境や生物を守るために奮闘してくださっていました。また、行政や地域ともコミュニケーションをとり、侍従会との連携体制も築いてくださいました。

相川さんが皆さんの知らないところで侍従川をそして侍従会を守るために様々なことをこなしてこられたことをここで皆さんにお伝えしたいと思います。本当に心強く偉大で熱い会長さんでした。

相川さんの意志に共感し影響を受けた私の想いもまた、これから引き継がれていくことを願って今回は相川前会長のお話を書かせていただきました。



『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく

朝夷奈の森通信 ~森の忍者より~ 飯村優介

忍者夏遠征

二十数年前、侍従川源流の、どろがけを木の根づかみによじ登る。その先の谷、三浦半島の谷探検拡大し、滝や廊下の越え方もおぼえた。

さて今夏は紀伊半島に行く機会があり興味深い体験ができた。八月台風の一週後で、逃げ道の近い谷をふたつ。一つは立合川大渓谷。

海から急に高い山になり、谷は深く豪壮そのものだ。滝と豪快な流れにしびれ、足元のまむしにきも冷やし、ヒル払いすすんだ。

おどろきは八月中旬の天然シイタケだ。ここがはじめてのことだ。夏キノコで紹介したアカヤマドリも採れ、滞在先でとても喜ばれた。

地元の幻の滝を探り出し、これも大歓迎され、いい旅ができた。



立合川 豪快な滝



真夏の天然しいたけ



優雅なナメ



地元の神川の
まぼろし滝



虫のきょういく座談会 ~告白~



参加者：だいちゃん（大地）・みっつー（光則）、佐野

2014年3月31日、この日は毎年恒例の「よこはまの水辺と緑を考える子ども会議」があった。そしてイベント終了後、筆者佐野は本日参加していた学生部エースの“だいちゃん”と“みっつー”に声をかけたのであった。

佐野「2人は帰りちょっと残って！俺の車に乗って行って！」

大地・光則「え？ うん！（？）」

佐野「説教ね！笑」

大地・光則「ええっ！？笑」

こうして佐野は二人に荷物を持たせ、緊張感を漂わせながら車に乗せたのであった。車に乗り帰路についたが、最初はとりとめのない話をした。しかし少しするとだいちゃんが切り出したのであった。

大地「で？ さのしん何？笑」

佐野「おっおう！笑」

光則「そうだよ！ 何で俺たちだけ車で送ってくれんの？」

佐野「いやあ…笑 あのさ！ 俺、結婚することになった！笑」

大地・光則「ええっ！？…」

光則「えっ！？ まじで！？…おっおめでとう！笑」

二人の反応は予想以上に良い反応であった。

佐野「良い反応だね～☆ 二人ももう中学生だしさ、かれこれ長い付き合いだからね。今日イベント終了後二人を借りますって山田さんに頼んだんだよ。」

大地・光則「ほえ～…」

佐野「驚いたべ？笑」

大地・光則「驚いた…」

彼らとは出会ってかれこれ7、8年が経つ。当時佐野は20歳になりたてであった。また彼らは話も通じないような幼い子どもであった。しかし、年は離れているがそれでも長い間お互いの成長を見ながら共に活動をしてきた。そんな二人に佐野は強い仲間意識を感じていた。

大地「奥さんはやっぱり虫に理解ある人なの？」

佐野「いきなりそこ？笑 おう理解あるよ！」

大地「理解なかったらさのしんと生活するなんて無理だよな！笑」

光則「だははは確かに！笑」

彼らもここ数年はだいぶ言うようになってきた。

大地「侍従川で結婚式やりなよ！ アシ船に乗って！笑」

佐野「おおそれはいいな！笑」

こうして帰り道は佐野の結婚話から今までの思い出話など大いに盛り上がった。

それから3か月後、事務局の河本さんの企画で有志によるお祝いの会を開いてくださった。そしてそこにはもちろんだいちちゃんとみっつーも駆けつけてくれた。

佐野「おい、みっつー！ 俺も奥さん紹介したんだから今度はみっつーに好きな子ができたら言えよ！笑 いつでもオニイサンに話してごらん！笑」

光則「またその話かよ！ 好きな人なんかいねえーよ！！笑」

数年後、彼らとお酒を酌み交わし語り合いたいものである。

(おわり)

侍従川定例調査報告

学生部

7月27日(日)

調査範囲：大道東橋～二の橋

生き物：ウキゴリ、スミウキゴリ、ビリンゴ、ウロハゼ、マハゼ、アベハゼ、チチブ、メダカ、クロベンケイガニ、テナガエビ、ミゾレヌマエビ、ハグロトンボ(53個体)、オオシオカラトンボ、イシマキガイ、カワニナ、ハリガネムシ

備考：ウロハゼとチチブの産卵を確認しました。

なお、同日夜19時頃野島公園でアカテガニの産卵も確認しました。



事務局だより

事務局運営委員 長橋 輝明

◆10月～12月の活動予定◆

☆定例クリーンアップ10/26(日)、11/23(日)、12/28(日)

9時～12時 ちとせ園集合 ※雨天延期・翌週日曜

☆10/11(土) 秋の恵みをいただく

集合：大道小9時 解散：大道小14時半

持ち物：弁当(途中のコンビニでも買えます)、箸、水筒、網(必要な人)

☆12/13(土) 冬の森たんけん

集合：大道小9時 解散：大道小16時(途中で抜けても構いません)

持ち物：弁当(途中のコンビニでも買えます)、水筒、網(必要な人)、防寒着

■学生部の活動は別途お知らせします。

《編集後記》 今回の話題は、何と言っても佐野副代表の結婚でしょう！突然のことで驚かれた方もたくさんいるのではないのでしょうか。

お二人の笑顔を見ていると、こちらまで幸せな気分になってきます。本当におめでとうございます。どうぞ末永くお幸せに♡。(MK)

